

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
応用栄養学特論	1単位15時間(8コマ) 講義科目	博士前期1年次 後期開講	☑・不可
科目責任者	大野 智子		
担当者	大野 智子、鹿内 彩子、清水 亮、山本 茂、伊藤 恵美子		
1. 科目のねらい・目標			
【ねらい】国内外の保健・医療・介護分野における栄養問題の解決に向けた実践活動に資する科学的根拠を蓄積するための方法論について学び、ヒトを対象とした実践栄養学について理解を深める。			
【目標】人々の栄養問題の解決につながる方法論を理解する。			
2. 授業計画・内容			
第1回：思春期の健康と栄養に関する現状と課題について講義する (担当：大野)			
第2回：要介護高齢者の栄養ケアに関する現状を制度とともに講義する (担当：伊藤)			
第3回：要介護高齢者の栄養ケアプロセスを講義する (担当：伊藤)			
第4回：学童期の健康と栄養に関する問題の現状について講義する (担当：鹿内)			
第5回：世界・日本の食事摂取基準はどのように策定されたか			
①エネルギー、タンパク質 (担当：山本)			
第6回：世界・日本の食事摂取基準策定はどのように策定されたか			
②エネルギー、タンパク質、その他栄養素 (担当：山本)			
第7回：生活習慣病と食事療法に関する現状について講義する (担当：清水)			
第8回：生活習慣病の食事療法に関する課題について講義する (担当：清水)			
3. 教科書、参考書			
各授業において、資料を配布する。			
4. 成績評価方法			
授業への参加度30%、レポート70%により評価する。			
5. 受講要件			
なし。			
6. 社会人学生に対する配慮			
仕事等の都合で対面での出席が難しい場合は事前申し出により、オンラインに対応する。			
なお、第1回、7～8回は完全オンラインである。			
7. その他			
オンデマンド不可			